

## ドーピングに関する実態調査と教育効果に関する研究

### 《ドーピングとは》

ドーピングとは、「スポーツにおいて禁止されている物質や方法によって競技能力を高め、意図的に自分だけが優位に立ち、勝利を得ようとする行為」ですが、禁止薬物の使用が意図的かどうかは問われません。また、スポーツ選手においては、自身でサプリメントや OTC 薬等を購入し、思いもよらない形で禁止薬物を使用してしまう“うっかりドーピング”が問題となっています。

### 《同意の表明の前提》

#### (1) 研究参加の任意性と撤回の自由

この研究への参加の同意はあなたの自由意志で決めてください。強制いたしません。

また、同意しなくても、あなたの不利益になるようなことはありません。

一旦同意した場合でも、受講者番号と同意撤回の旨を連絡いただくことで、あなたが不利益を受けることなく、いつでも同意を取り消すことができます。その場合はアンケートやテストの結果などは廃棄され、それ以降は研究目的に用いられることはありません。

#### (2) 研究実施計画

研究題目：ドーピングに関する実態調査と教育効果

研究方法：Web を中心としたアンケート調査と講義前後のテストを用いて、調査を行います。

調査項目（詳細は別紙参照）

- ・年齢（学生の場合は学年も）
- ・回答者の立場（選手か指導者か等）
- ・競技種目
- ・競技レベル
- ・ドーピングに関する教育を受けた経験
- ・ドーピングに関する相談について
- ・ドーピング検査に関する経験
- ・スポーツファーマシストの知識の有無
- ・ドーピングに関する知識について

研究実施体制

この研究は長崎国際大学薬学部医療情報学研究室で行います。必要に応じて研究協力者の協力を仰ぎ、関係各団体（教育委員会など）の後援依頼やプレスリリース等も行います。

《研究責任者》

氏名：末廣 真理恵（薬学部・助教）

部署：長崎国際大学 薬学部崎

《研究協力者》

氏名：濱崎 久司（薬剤師、公認スポーツファーマシスト）

部署：さわせ薬局 大村店

《研究協力者》

氏名：徳吉 剛（地域連携室長兼スポーツ支援・振興室長）

部署：長崎国際大学

（３）研究参加者にもたらされる利益および不利益

回答内容は様々な情報を含んでいるため、取り扱いが厳密に行います。また、本研究では、回答された内容のみを解析しますので、それ以上の情報を得られる利益も、不利益も生じません。

（４）個人情報の保護

個人情報を保護するため、参加者ごとに番号を割り当て、情報を取り扱う際にはこの番号を用い、個人が特定できる情報は使用しません。守秘義務、個人情報保護法に基づき実施し、あなたのプライバシーにかかわる情報が外部に漏れる心配はありません。

（５）結果の開示

研究参加者に結果を開示する予定はありません。

（６）研究結果の公表

研究の成果は、本人が特定できないようにした上で、大学ホームページ、学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公に発表されることがあります。

（７）研究結果から生じる知的財産権の帰属

この研究から成果が得られ、特許権などの知的財産を生み出す可能性があります。その場合の知的財産権は長崎国際大学に帰属し参加者には帰属しません。

（８）研究終了後の情報などの取り扱いの方針

アンケートやテストの回答内容は、本研究のためだけに用います。

この研究で得られた情報は、長崎国際大学薬学部医療情報学研究室で最低でも研究終了後 3

年間保管しますが、この期間が過ぎても可能な限り保管します。

(9) 費用負担に関する事項

ここで行われる研究に必要な費用は、長崎国際大学や公の助成金から出され、あなたが負担することはありません。

令和 3 年 10 月 14 日

連絡先

長崎国際大学 薬学部 末廣真理恵  
佐世保市ハウステンボス町 2 8 2 5 - 7  
TEL 0956-20-5592